

2020年4月30日

ベトナム全土での移動制限緩和後の市民生活と経済活動（Covid-19）

4月23日、新型コロナ対策でベトナム全土で実施されていた移動自粛・移動制限が緩和・解除されました。では、その1週間後のベトナムの市民生活や経済活動はどう変化したのでしょうか。全体として市民生活は8割ほど回復した印象です。新型コロナウィルスとの戦いで何週間もの間不自由な生活を強いられましたが、今や理髪店・美容院や市場に出かけることができ、自由に運動することも可能になり、また生徒は学校に戻ることができました。このように社会的な隔離期間中に制限されていたごく当たり前の日常生活を取り戻すことができ、人々は幸せを噛みしめています。また、外出制限の期間中は外食が禁止されていましたが、久しぶりにおなじみのフォーを食したい顧客に応え、レストラン等の飲食業では営業が再開され接客に忙しい光景が見られます。もちろん、人々は感染リスクはまだあると認識していて、マスクの着用や手洗いの励行、不要不急の外出を自粛するなど、引き続き感染防止対策を実施しています。下の写真のように、フォーの店舗では、テーブルにアクリル板の間仕切りを新たに設置し感染防止に努めています。



再開された美容院・理髪店



間仕切りがあるフォー店

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～



散歩・運動をしている市民



市場

4月27日以降、30の市省で主に中学校4年生から高校の授業が再開し、生徒は3か月後に予定されている卒業試験に備え復習に余念がありません。5月上旬には、63の市省の内57の市省で全学齢の生徒を学校に戻すことを決めました。



バクニンでの高校



教室に入る前に生徒は校庭で手消毒・体温を測定される

経済面では、バス、タクシー、鉄道、国内航空路線の運航、各種店舗やショッピングセンターの営業、企業の生産活動がそれぞれ再開し、経済活動は徐々に通常の状態に戻りつつあります。

【写真提供 JVRC】

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。